

2025年度

入学試験問題

学校法人 明星学園

国際医療専門学校

看護学科

国語総合

(一般入試 I期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 3 下敷の使用は禁止する。
- 4 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 5 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ケータイと選択的人間関係

かつて筆者は、若者たちのあいだにケータイが普及する一九九〇年代後半、ケータイでつながる若者の友人関係が「浅い」と評されることが多かったのに対し、a 選択的人間関係の広まりとして捉えることを主張した（「若者の友人関係と携帯電話利用」）。

ここでいう選択的人間関係とは、地縁や血縁、学校や職場を①基バンとした関係のように選べない関係性、あるいはその関係からの離脱が容易ではない関係性ではなく、お互いに相手とつきあうかどうかを自由に選び選べれ合うような関係性を指す。ケータイを②ク使することで若者たちはお互いに選び選べれ合う関係性を維持・管理していると考えたのである。

個人が所有し、常に身につけているケータイは、家庭で共有される電話以上に、個人と個人が直接的につながるのに適している。会議中や睡眠中など電話に出られない状況はあるものの、b ケータイには「留守」がない。加えて、家庭の電話のように誰が電話口に出るかかわらないのではなく、基本的にケータイは持ち主本人しか出ることではない。

電話と比べるとケータイは、見知らぬ誰かからかかってくる「可能性」が低いことも重要である。かつて家庭や職場の電話番号は連絡先として公開される傾向にあった。併せて、電話普及当初は「電話がある」ということがステータスであったこともあり、電話番号を電話帳へ掲載するのも普通であった。しかし、セールスや③カン誘電話への嫌悪感、プライバシー意識の高まりなどを受けて、一九八〇年代以降、電話帳への掲載を見合わせる一般家庭が増加していく。その後に普及したケータイの場合、電話帳に番号を掲載している人はほとんどいない。

A、一九九三年に始まったケータイのデジタル化により、家庭の一般加入電話より早く九四年頃から、ケータイでは発信番号表示サービスが利用できるようになった。このため、一九九〇年代半ばから、とくに若年層ではこの機能を利用し、かかってきた相手を確認してから、応答をするかどうか決める使い方が広がっていく。当時、「番通（番通選択）」と若者が名づけたこのようなケータイの使い方は、その後、他の年齢層にも広がり、かかってきたのが誰であるかを確認し、「心の準備」をしてから電話に出ることまでを含めると、「番通」の活用はケータイでは一般的な使い方となった。ケータイ端末のアドレス帳に登録されていない相手からの電話や、発信番号を「非通知」としている電話には出ないと決めている人も少なくない。こうして、ケータイでつながるのは、基本的にはその持ち主が知っている相手、ケータイ番号を教えた相手となっていた。

このようなかたちで、ケータイは電話以上に自分がコミュニケーションを取りたい相手と①につながるために利用されており、その普及によって、偶然居合わせる関係性より、個人がその場で選んだ相手との関係性を優先する傾向が強まっていると考えられることを、選択的人間関係の広がりとして捉えたのだ。

B、このような選択的人間関係の広がりにはケータイのみがもたらしたものではないし、若者だけにあてはまるものでもない。一九七三年から五年ごとにNHK放送文化研究所が行ってきた「日本人の意識」調査によれば、一九七三年からの三五年間にどの世代においても親戚・近隣・職場とのつきあい方として「全面的関係」を望む人が減少し、「部分的関係」あるいは「形式的関係」を望む人が増加する傾向にある（『現代日本人の意識構造 第七版』。「全面的な深い人間関係」より「選択的な人間関係」を望む傾向は「今日の若者」特有の現象ではなく、どの世代にもあてはまる現象、時代の経過やそれにもない進行し

た「都市化」といったより広い文脈で検討すべき現象である。

C、ケータイが選択的關係の「原因」のではなく、都市的Ⅱ選択的な人間関係を望む傾向が強まるなかで、選択的な関係性を築き、維持する上で役立つからこそ、ケータイが普及したのであり、同時に、ケータイの利用によって選択的な関係性を維持しやすくなっていると考えたのである。

「連絡可能な知り合い」の増大

この選択的關係論を考えるきっかけとなったのは、一九九〇年代半ばから後半にケータイ利用に関する調査を行っていたときにしばしば出くわした、ケータイのメモリいっぱい「友だち」のアドレスを登録しているという一〇代の若者たちである。

当時のケータイ端末に登録できたアドレス数は最大で二〇〇件程度であったのだが、すでに「友だち」を二〇〇人登録しており、次に知り合う人が登録できないので、一度会っただけの「友だち」や最近会わない「友だち」のアドレスは消す、といった話に **c** 驚かされた。(a)

また、ケータイは以前であれば、自然と途切れてしまったような友だちとも、ケータイがあるがゆえに、つきあいを続けているという若者も多かった。それはたとえば、別の高校に通うようになった中学のときの友だちであり、そういった友だちの存在が一般化した結果、「チュウトモ」「オナチュウ」(いずれも、中学のときの友だち)「ジモトモ」(地元の友だち)というカテゴリーが若者特有の言葉として成立していた。(b)

友だちの数を一〇〇人、二〇〇人と答える一〇代の若者たちと当時二〇代末であった筆者とでは、「友だち」の定義が異なっていたのであろうし、友だちの数が一〇〇人だという若者を平均的な若者とみなすことももちろんできない。それでも注目すべきは、ケータイ端末のアドレス帳が連絡可能な知り合いをストックするために活用されており、日常的に顔を合わせる機会はないが、近隣に住んでおり、会おうと思えば会えるような友だちとの関係を維持するのに役立てられていたことである。(c)

一方で、若者の友人や親友の数は、ケータイ普及以前から一貫して増加する傾向もみられた。**D**、NHK放送文化研究所が中高生を対象に行ってきた「青少年の生活と意識に関する基本調査」によれば、一九八二年から八七年、九二年へと一貫して「親友の数」は増加している(謝名元慶福「現代中学生・高校生像」)。だとすると、若者の友だちの数の増加は、「当時の若者」が原因でも、ケータイが原因でもなく、別の要因が考えられる。

そこで参考としたのが、アメリカの都市社会学者のクロード・フィッシャーが検討を行ってきた都市化が人間関係に及ぼす影響についてのいくつかの議論である。(d)

フィッシャーによれば、都市化は友人関係を損なうというよりもむしろ逆で、都市住民のほうが「友人」の数は多く、接触④ヒン^④度^④も村落住民と大差ないという。違いがあるとすれば、都市住民のほうが職場の同僚や隣人などではない友人(彼はこれを「純粋な友人」と呼ぶ)の数が多く、「あらゆる特定の社会的文脈の外に、**d**『自由に浮動する』友人関係とでもいえるようなより多くの社会的絆を持っている」ことである。都市に住む人のほうが、地縁や血縁、職場の同僚だけでなく、つきあうかどうか自由に選べるような友人が多いというのだ。(e)

フィッシャーはこれらを実証的に検討するにあたって「都市」を「人びとの居住地、およびその近傍における人口量」から定義しているが、パーソナル・ネットワークの観点からこの点を検討した都市社会学者の松本康は、単純な人口量ではなく「ある場所における、日常的に接触可能な人口量」から定義するのが適当であるとする(「都市は何を生みだす

か」。この松本の定義に従うならば、若者のケータイ利用は「日常的に接触可能な人口量」を増やすことで、擬似的な都市効果をパーソナル・ネットワークに与えると考えたのである。

松田美佐『うわさとは何か』

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 基バン「解答番号は1」

- a バン石の基礎を築く。
- b 名誉バン回するつもりだ。
- c 彼は早バン部長になるだろう。
- d バン外編が作られた。
- e 廉価バンを購入した。

② ク使「解答番号は2」

- a ク徳を施す。
- b しなやかな体くだ。
- c 害虫ク除を依頼した。
- d ク裏とは寺院の厨房のことだ。
- e ク洪の決断であった。

③ カン誘「解答番号は3」

- a カン嘆の声をあげた。
- b カン送迎会を開いた。
- c カン進帳は歌舞伎の脚本である。
- d 金カン日食を観察した。
- e 近頃若カン暑さが和らいできた。

④ ヒン度「解答番号は4」

- a ヒン死の重体だ。
- b ヒン馬を選んだ。
- c ヒン客としてもてなした。
- d まさに赤ヒン洗うが如しだ。
- e 交通事故がヒン発している。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。「Aは解答番号は5、Bは解答番号は6、Cは解答番号は7、Dは解答番号は8」

- a ただし
- b たとえば
- c さらに
- d なぜなら
- e ゆえに

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を
(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

「ケータイは電話以上に手軽に維持したい。つながり。関係性を維持するために
用いられていたのである。」

問四 本文中の事例の中で、傍線部 a 「選択的人間関係」にあてはまるものはどれか。【解答
番号は10】

- a 選択的人間関係は、つながるかどうかを互いに判断してから築く関係性のこと
である。
- b 選択的人間関係は、ケータイの普及によつてのみもたらされた新しい関係性で
ある。
- c 選択的人間関係は、「都市化」によつてもたらされ、結果的に社会における孤立
を生んだ。
- d 選択的人間関係は、老若男女に共通するものではなく若年層にのみ見られる関
係性である。
- e 選択的人間関係は、「浅い」ものではなく、むしろこれまで以上に「深い」関係
性である。

問五 傍線部 b 「ケータイには『留守』がない」とはどういう意味か。最も適当なものを
次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は11】

- a ケータイは通常、多くの人が通話やアプリなど様々な用途で使っていることが
多く、電源を切る時間のほうが少ないということ。
- b ケータイは通話機能だけでなく様々なアプリなどが入っており、それを利用す
る人も多いため、稼働している時間のほうが長いということ。
- c 現在ではケータイ電話に留守番機能がついているのが当たり前だが、普及した
当時は留守番電話サービスがなかったということ。
- d ケータイは持ち主が携帯していることが多いため、家の電話のように電話から
離れて不在になることがないということ。
- e ケータイは常に携帯される存在であり、いかなる状況であっても持ち主は絶対
に電話に出ることができるようになったということ。

問六 傍線部 c「驚かされた」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。〔解答番号は 1²〕

- a 若者にとって、友人の数Ⅱケータイに登録できる数なのであり、使われないデータを消していくように人間関係を選別しているから。
- b 入力しきれない分のデータは紙に書いて保存するなどの考えに及ばない、若者たちのデジタル化の浸透に圧倒されたから。
- c その友人の前では登録しておきながら、本人がいなくてところで平気でデータを消すという行為をやつてのけるから。
- d 他人のデータを消すということは、自分のデータもまた他人に消されているのだという恐ろしさに気付いていないから。
- e 二〇〇人の枠でさえ足りなくなるほど、若者たちは知り合いが多く、人と人とのつながりを求めていることがわかったから。

問七 傍線部 d「『自由に浮動する』友人関係」とは何を指すか。あてはまるものを次の中から選び、記号で答えなさい。〔解答番号は 1³〕

- a そのコミュニティに所属するかどうかの決定権が相手に任されている関係のこと。
- b 現実世界にとらわれず、インターネットなどの仮想空間で築く関係のこと。
- c 地縁や血縁、職場といった枠に所属せず、他のコミュニティの中から築く関係のこと。
- d 地縁や血縁、職場の中から中心となるコミュニティを自由に選べる関係のこと。
- e 地縁や血縁、職場の枠のみならず、様々なコミュニティごとに築く関係のこと。

問八 空欄 1 にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。〔解答番号は 1⁴〕

- a 直接的
- b 間接的
- c 全面的
- d 部分的
- e 形式的

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。〔解答番号は15〕

- a 「部分的関係」あるいは「形式的関係」を望む人が増加する傾向が増えたことで、人々の孤立感は深まった。
- b 「全面的関係」を望む人の増加は、時代の経過やそれにもない進行した「都市化」によってもたらされた。
- c ケータイの普及は、個人がその都度選んだ相手との関係性を優先する傾向の要因の一つとなった。
- d 若者の友人や親友の数は、ケータイの普及に伴うSNSでのつながりが原因で増加していったと考えられる。
- e ケータイの普及によって移り変わってきた「友達」の概念は、老若男女問わず今こそ見直すべきである。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 伸縮〔解答番号は16〕 | ② 造幣〔解答番号は17〕 |
| ③ 閑静〔解答番号は18〕 | ④ 殺菌〔解答番号は19〕 |
| ⑤ 無謀〔解答番号は20〕 | ⑥ 不浄〔解答番号は21〕 |
| ⑦ 美醜〔解答番号は22〕 | ⑧ 悲哀〔解答番号は23〕 |
| ⑨ 墮落〔解答番号は24〕 | ⑩ 飢餓〔解答番号は25〕 |
- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
b 反対または対応の意味の漢字を重ねたもの。
c 上の字が下の字を修飾しているもの。
d 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。
e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 愛好〔解答番号は 2 6〕 | ② 真実〔解答番号は 2 7〕 |
| ③ 汚染〔解答番号は 2 8〕 | ④ 巧遅〔解答番号は 2 9〕 |
| ⑤ 定住〔解答番号は 3 0〕 | |
| a 拙速 | b 虚偽 |
| c 嫌悪 | d 流浪 |
| e 浄化 | |

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 監禁〔解答番号は 3 1〕 | ② 突飛〔解答番号は 3 2〕 |
| ③ 発議〔解答番号は 3 3〕 | ④ 道德〔解答番号は 3 4〕 |
| ⑤ 了解〔解答番号は 3 5〕 | |
| a 奇抜 | b 納得 |
| c 倫理 | d 幽閉 |
| e 提案 | |

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① □古不易〔解答番号は 3 6〕 | ② 真実一□〔解答番号は 3 7〕 |
| ③ 無病□災〔解答番号は 3 8〕 | ④ 唯我独□〔解答番号は 3 9〕 |
| ⑤ 適□適所〔解答番号は 4 0〕 | |
| ① a 一途 | b 十路 |
| c 百道 | d 千岐 |
| e 万脈 | |
| ② a 途 | b 路 |
| c 道 | d 岐 |
| e 脈 | |
| ③ a 火 | b 息 |
| c 即 | d 防 |
| e 人 | |
| ④ a 存 | b 遜 |
| c 損 | d 尊 |
| e 孫 | |
| ⑤ a 材 | b 在 |
| c 剂 | d 財 |
| e 濟 | |

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 濡れ手で□〔解答番号は41〕
② □に描いた餅〔解答番号は42〕
③ 嘘も□便〔解答番号は43〕
④ 背水の□〔解答番号は44〕
⑤ □病相憐む〔解答番号は45〕

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| a | a | a | a | a |
| 同 | 仁 | 報 | 本 | 米 |
| b | b | b | b | b |
| 未 | 塵 | 法 | 木 | 稗 |
| c | c | c | c | c |
| 難 | 甚 | 方 | 壁 | 餅 |
| d | d | d | d | d |
| 疾 | 迅 | 砲 | 絵 | 麦 |
| e | e | e | e | e |
| 奇 | 陣 | 放 | 紙 | 栗 |

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① 寝る時はあたたかくしなさい。〔解答番号は46〕
② 食べない場合は冷蔵庫に入れておくこと。〔解答番号は47〕
③ 新作の映画を見たい。〔解答番号は48〕
④ 何かこれを磨く布はありますか。〔解答番号は49〕
⑤ 言いたいことがあるが我慢している。〔解答番号は50〕

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| a | b | c | d | e |
| 未然形 | 連用形 | 終止形 | 連体形 | 仮定形 |